

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地域密着型サービス施設整備補助事業				担当部	健康福祉部									
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	介護保険課								
	事業期間	平成22年度		～	平成31年度以降		担当係	保険資格係								
	総合計画 新基本計画	施策等	2 保健・福祉		11 保険・福祉医療		2 健全な介護保険制度を運営します									
			重点事業		実施計画事業	○										
	予算区分	款	3		項	2		目	4		大	3		中	6	
	根拠法令・個別計画	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱、第6次小牧市高齢者保健福祉計画														
	目的	何・誰を対象に	介護を必要とする高齢者													
		どの様な状態にするのか	施設整備の整備費の一部を補助し施設整備の促進を図ることにより、介護を必要とする高齢者が住みなれた地域で生活し続けられるようにする。													
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>●愛知県介護施設等整備事業費補助金 介護施設等の整備及び開設時から質の高いサービスを提供するための体制整備に対し、事業の実施に要する経費の一部を補助する。</p> <p>県予算編成の遅延により27年度整備分に関しては27年度に補助金全体の10%、28年度に90%の補助予定。 27年度は ・認知症対応型共同生活介護1箇所(株サンケイ) ・小規模多機能型居宅介護1箇所(株サンケイ) に対し補助を実施した。 (27年度直接経費の内訳) 補助金 64,000千円×10%=6,400千円 県 6,400千円</p> <p>28年度は 27年度継続分の補助64,000千円×90%=57,600千円に加え、 ・認知症対応型共同生活介護1箇所 ・小規模多機能型居宅介護1箇所 ・認知症対応型通所介護1箇所 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護1箇所 ・小規模介護老人保健施設(県との協議により平成29年度に変更) の補助を予定している。 (28年度直接経費の内訳) 補助金 57,600千円+128,700千円=186,300千円 県 186,300千円</p>														
受益者負担	無															

		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	176,000	219,990	6,400	186,300	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	550	550	550	550
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	176,550	220,540	6,950	186,850	
対前年比	%			124.9	3.1	2,688.4		
財源	一般財源	千円	550	550	550	550		
	国・県支出金	千円	176,000	219,990	6,400	186,300		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	補助対象施設整備箇所数	箇所	目標	3	6	4	4
			実績	3	5	2	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H25	H26	H27	H28
補助実施法人数	社	目標	—	—	—	—	
		実績	3	3	1		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成27年度の事業の達成状況	4施設の整備を目標としていたが、認知症対応型共同生活介護1箇所、小規模多機能型居宅介護1箇所を運営する1事業予定者を決定し、1事業者に対し補助を実施した。 なお、事業者の応募が無く、一部予定していた整備が進められない施設があった。		
	事業実施における課題	年度内に事業が完了する(施設を整備する)必要があることから、事業者にとっては、時間的な余裕がないこと、また、施設整備計画と事業者及び利用者の需給ギャップを見極めることが整備を進める上で課題となっている。		
	基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	地域密着型介護サービスを整備することで、基本施策の目的としているだれもが必要な介護を安心して受けることができる。また、高齢者保健福祉計画で目標としている介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができる。		
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	平成27年3月に策定した第6次小牧市高齢者保健福祉計画の整備計画の周知を図り、事業者の整備の時間的な余裕を考慮し、施設整備の推進を図る。	
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	27年3月に策定した第6次小牧市高齢者保健福祉計画に基づき、28年度までに整備できなかった施設も併せて、必要な施設の整備を図ることができるよう事業を維持していく必要がある。		
	29年度以降の改善案	平成27年3月に策定した第6次小牧市高齢者保健福祉計画の整備計画の周知を図り、事業者の整備の時間的な余裕を考慮するとともに、第7次小牧市高齢者保健福祉計画策定において、事業者や利用者に対するアンケートを詳細に分析し、必要性の高い施設について整備を進める。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。